

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

205号

2018年10月25日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ アメリカの合意得られず 新航空路が難航？

「羽田空港 新飛行ルート 日米の調整難航で運用できないおそれ」として10月4日NHKのニュースや読売夕刊や毎日、読売のウェブニュースで報じられたその内容は、

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、羽田空港の国際便の発着便を増やすための新たな飛行ルートをめぐって、日本とアメリカの間の調整が難航し、運用できないおそれが生じていることがわかりました。政府内からは、外国人旅行者を2020年までに4000万人にするという目標に影響が及ぶことを懸念する声も出ています。

一方、この新たな飛行ルートは、在日アメリカ軍横田基地が航空管制を行う空域を一時的に通過することから、政府は、羽田空港を発着する航空機の上空通過を認めるとともに、航空管制も日本側が行うことを前提に、アメリカ側と調整を続けてきました。

しかし、アメリカ側が、ことし夏ごろになって、上空通過も日本側が航空管制を行うことも認められないという意向を伝えてきたため、飛行ルートが運用できないおそれが生じていることが政府関係者の話でわかりました。

このため政府は、危機感を強めアメリカ側との協議を続けていますが、事態打開の見通しはたっており、政府内からは、安倍政権が掲げる外国人旅行者を2020年までに4000万人にするという目標に影響が及ぶことを懸念する声も出ています。

というものでした。東京・朝日などは慎重なのか詳細な報道はまだないようです。

○ 「200号記念合冊号」発行

2003年から2018年までに配布された「まちづくりニュース」合冊版を、10月中に発行します。

この15年に渉る常盤台の変遷だけでなく、貴重な過去の記録「むかしばなし」や、少女時代を常盤台で暮らした照明作家の石井幹子さんの思い出の連載など、ぜひ読んでいただきたい記事がありますが、全部で100部しかないので、関係者用50部以外の50部をご希望の方にお分けしたいと思います。申し訳ありませんが、1部1000円を申し受けます。原価は2000円かかっています。

ご希望の方は事務局にお電話ください。

なお出版に当たっては、全国景観市民ネットから10万円を負担して頂きました。残り10万円は裁判費用の残金から出費しています。最後の最高裁への上告を諦めた分の残金で、街のために使うということで寄付を寄せて下さった方々の了解を頂いています。

また年内に発行する予定の「お散歩マップ」改訂版にもこの残金を使う予定です。

○ エールフランス機都心を低空飛行

10月8日深夜、羽田発パリ行きのエールフランス機が、規則通り離陸後すぐ海上に出ず、皇居の1380m真上など都心を低空飛行したので、国交省は調査を依頼、エールフランスは謝罪しました。

ただの1機でこの騒ぎ、新航空路が実現すると1時間40機以上が3時～7時までぶっ続けて飛ぶことを想像できないのでしょうか。

左の記事内容もそうですが、国民の生命や健康より、アメリカや国家の利害が優先している状況は情けない限りです。

野良猫の数がハンパない！

塀の上で昼寝する野良猫一〜二匹、猫好きならほっこりする風景ですね。猫嫌いで一〜二匹なら、「ま、いいか」と気にしないでしょう。でもそれが何十匹といったらどうしますか？

実は常盤台には「ま、いいか」で済まされない数の野良猫がいるのです。

捕獲を依頼している専門家は、常盤台には二〇〇〜三〇〇匹の野良猫がいると断言します。

それぞれの家の敷地が広く塀も高い、多くの住民が高齢化して静かに暮らしているこの街には、猫にとつて安全で快適な隠れ場所がたくさんあるのです。猫は夜行性なので昼間は見かけなくても、気がついたら庭で子猫が大量に生まれていて慌てるケースが多いのです。この夏は特に子猫が、それも雌がたくさん生まれたそうです。

家の庭に野良猫が大発生したらどうしますか？ 保健所に連絡してどうにかしてもらいますか？ 最近野良猫をどうにかしてほしいと保健所に電話した人は、全然対応してもらえませんでした。現在保健所は野良猫の捕獲はしていません。HPやパンフレットを見てください。飼い猫は不妊手術をして一生飼い続けること、飼い主のいない猫には不妊手術をし、これ以上増えないようにすることが望ましいと書いています。

区からの助成金はあっても、野良猫対策は地域住民の努力に任せるといふことです。

一丁目の並木道付近で、九月に成猫七匹（オス三、メス四）を捕獲・手術しました。

手術できない小さな子猫三匹は里親に引き取ってもらいました。八月の一六匹と合わせて約三〇匹捕獲したことになります。それでもまだトラップにかからない猫がいますし、母猫の一匹はまた子猫を生んでしまいました。野良猫対策ENRは、常に野良猫たちに気をつけて、耳カットしてない新しい子をすぐに捕獲・手術しなければ効果がありません。今年だけでなく、何年も続ける必要があります。

今年のENRには、一丁目周辺の方々に直接お声掛けしてカンパをいただきました。

しかし野良猫がいるのは一丁目に限りません。常盤台全体を考えると来年以降もっと広範囲に野良猫対策するのが望ましいので、その際にはご協力お願いいたします。 N・Y

最近また野良猫の姿を頻繁に見かけるように思います。その影で地道な活動を続けている方達に頭が下がります。捕獲時期には募金などに景観を守る会も協力したいと思えます。

台風被害

今年には台風の通過が多く、豪雨や強風の被害が常盤台にもありました。

公園や神社の大きな木が倒されたり、立派な門が横倒しになったり、カーポートの屋根が吹き飛ばされたりしました。

水害は先ず無いし、火災も木密地帯ではないので心配はない街のようですが、風雨と地震は用心が必要です。

常盤台公園のはなづくり

注文しておいたチューリップの球根が届きました。十一月はじめての日に花苗と共に植え込みます。

雑草がボウボウの花壇の前を通ると、蚊と暑さと雑草のたくましさ今年には負けてしまったなあと思います。

公園の中で一人の男性がカリンの木を見上げていました。カリンは今年も実を着けていますが、まだ青く、黄色に熟しても固くて食べられません。男性は蜂蜜漬けにして香りを楽しむそうです。

公共地には食べられる実の成る植物は植えられると言われていました。それが元で諍いがあると困るからだそうです。平和公園のギンナンを拾っていたら、探る人が決まっているからと追い払われたとか。

そんなケチなことを言わずに、グミやクワ、木イチゴ、クリ、カキ、イチジクなど、子ども達に自然の恵みを味わわせてやりたいものです。男性は子どもの頃、柿やイチジクは「ごめんください。少し分けてくださいませんか？」と挨拶すればいつも貰えたものだったと語っていました。

公園や街路樹に木の実がなったり、住宅街の傍の茂みに、美味しい実があったりしたら、子どもも世界もどんなに楽しいことか。